

医療介護関係者の理解促進・スキル向上のあり方について

本日の論点

議論の要点

今回は、医療介護関係者の理解促進・スキル向上のために、各団体が行う取組の現状や行うべき取組の方向性について議論を行いました。

本日は、前回の御意見等を参考に、各実施主体が行うべき取組の想定を記載しております。その想定を参考に、各実施主体が行うべき取組はどのようなかについて、議論を行います。また、行うべき取組を促進する方法は、どのようなことが考えられるかについて、議論を行います。

論点(1) 医療介護関係者の理解促進・スキル向上のために、各実施主体が行うべき取組はどのようなことが考えられるか。

行うべき取組の想定

- 病院や医師会等で、地域の医療介護関係者も含めた、ACPやガイドラインに関する研修を実施するのはどうか
- 医療・介護従事者の養成課程等において、ACPやガイドラインに関する教育及び研修を行うのはどうか
- 医師会は、ホームページ、会報誌等において、意思決定支援に関する情報提供を行うことはどうか
- 介護保険事業者連絡会で、介護関係者向けのACPやガイドラインに関する研修を行うのはどうか
- 吹田市の多職種連携研修会で、ACPをテーマとして取り上げ、多職種共同で学ぶのはどうか

論点(2) その取組を促進する方法はどのようなことが考えられるか。

取組を促進する方法の想定

- 医療介護関係者向けのACPやガイドラインに関する研修会のための、標準的なプログラムやテキスト等を提供するのはどうか
- 大阪府地域医療介護総合確保基金事業（各病院、医師会対象）の周知をするのはどうか
- 他市等の先進的な取組の事例を紹介するのはどうか
- 書いてみよう ver 等、現場で活用可能なツールを医療介護関係者に提供するの
はどうか

医療介護関係者の理解促進・スキル向上に関する今後の取組のイメージ

作業部会で議論した内容を紙面にまとめ、医療介護関係者自身が主体的に理解促進・スキル向上のための取組を開始・充実していくための材料としていただく

【記載する主な内容】

理解促進が必要な現状や理解を深めるべきポイント、取組の実現に向けたヒントや例など